

1年1組から28名の生徒と担任の先生が参加しました。

尾張

(深田種彦提供)

スマホ自撮りで現代アート



稲沢東高 芸術家が合成クラス写真に

スマートフォンで自己代アートの作品を制作す 生約三千人が参加した。自身を撮影(自撮り)する授業が稲沢市大塚南の 芸術の授業の一環で、た写真を組み合わせ、現 稲沢東高校であり、一年 二月十三日から岐阜市出



●西松さんの指導を受け、スマートフォンで自撮りする生徒たち ●スマートフォンで作成した作品をまとめた冊子「いずれも稲沢市大塚南の稲沢東高で

身でドイツ在住のアーティスト西松秀祐さん(ご)らが指導。「集団と個」をテーマに、生徒たちは思い思いの表情で自分を撮影した。

生徒たちが自撮りした写真を西松さんが合成し、一枚のクラス写真に仕上げた。制作風景と合わせて冊子(縦十七センチ、横二十一センチ)にまとめた。

西松さんは「共同制作を終え、新たな発見も多かった。もう少し手を加え、六月にドイツで開かれる展覧会に出品できたらと考えている」と話した。

美術部の金井音美さん(ご)は「普段、何げなく使っているスマホでアート作品ができるのは驚いた。一つ一つの写真をつなげて集合写真にするなど、思い付かないような方法を学べた」と笑顔を見せた。(花井康子)

この記事・写真等は中日新聞社の承諾を得て転記しています。